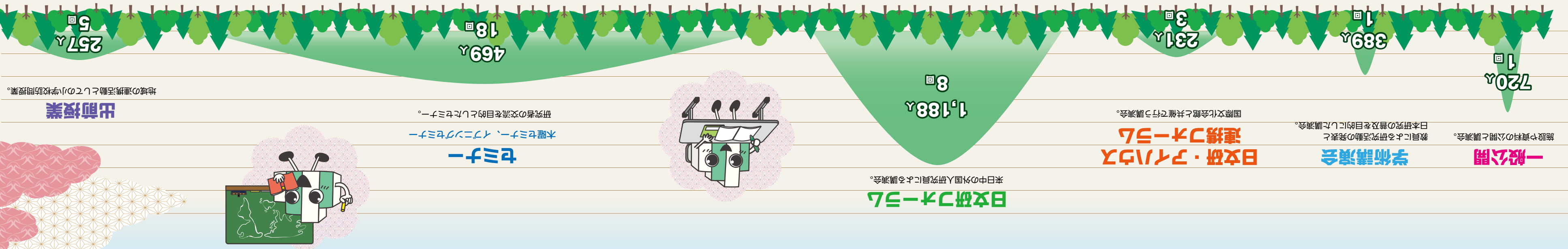


日本文研の研究活動、研究成果及び研究協力活動を一般に公開し、また、研究者との交流の場として様々なイベントを実施。

～参加人数



出前授業  
地域の連携活動としての小学校訪問授業。

セミナー  
木曜セミナー「アジアミニア」  
研究者の交流を目的としたセミナー。

日本文研コネクト  
来日中の外国人研究者による講演会。

日本文研・アジアミニア  
日本文研の普及を目的とした講演会。

連携コネクト  
国際文化会館と共催で行う講演会。

一般公開  
施設や資料の公開と講演会。

学術講演会  
教員による研究活動の発表と日本研究の普及を目的とした講演会。

名誉教授・所属教員の受賞等

文化勲章	文化功労者	瑞宝重光章	紫綬褒章	日本学士院賞
梅原 猛	梅原 猛	小松 和彦	速水 融	速水 融
速水 融	河合 隼雄		河合 隼雄	
中西 進	速水 融	瑞宝中綬章	芳賀 徹	日本学士院会員
	中西 進	安田 喜憲	飯田 経夫	石井 紫郎
	小松 和彦		猪木 武徳	
	伊東 俊太郎		安田 喜憲	
			小松 和彦	

第7代  
井上 章一  
2020年4月1日～

第5代  
猪木 武徳  
2008年4月1日～2012年3月31日

第6代  
小松 和彦  
2012年4月1日～2020年3月31日

第4代  
片倉 もとこ  
2005年5月21日～2008年3月31日

第3代  
山折 哲雄  
2001年5月21日～2005年5月20日

第2代  
河合 隼雄  
1995年5月21日～2001年5月20日

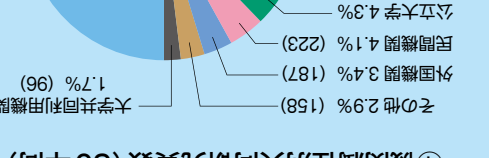
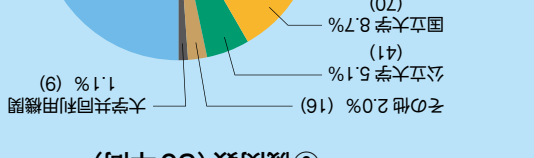
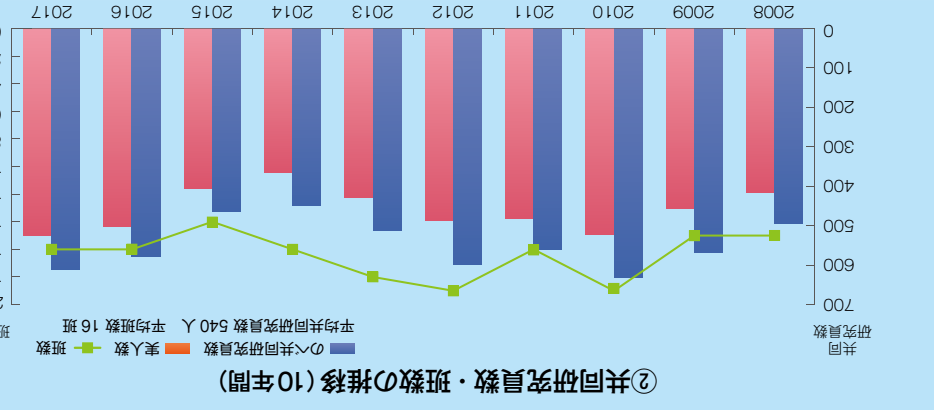
初代  
梅原 猛  
1987年5月21日～1995年5月20日

歴代所長



共同研究者

共同研究者数	5,490
海外共同研究者数	162
平均共同研究者数	32



② 共同研究者数・班数の推移 (10年間)

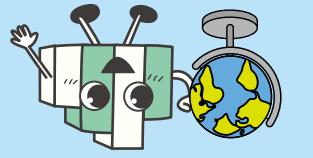
①では30年間にわたり共同研究者の総数を、②ではそのうちの10年間に焦点を絞り、年間の平均共同研究者数 [540人] と平均班数 [約18班] を算出してみました。そして共同研究者が所属する機関を③で分類し、所属機関毎の共同研究者数を④で出してみました。④のうち2.9%を占める「その他」には、まんなかやエソニック、ソフト批評家や農業問題ジャーナリストなど、共同研究に幅と深みと面白さを加える多種多様な職種が共同研究者に含まれています。



発表者の国・地域  
日本文研コネクトの

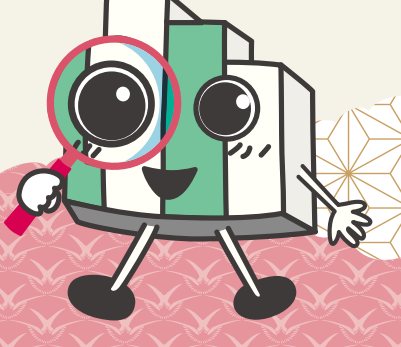
① 地域別発表者数

国・地域	人数
アジア	168
欧州	78
北米	72
大洋州	11
アフリカ	4
中東	2
中南米	1
合計	336



発表者の所属機関を地域で分類し (①)、グラフ化し (②)、法人化前後で表してみました (③、④)。②のグラフから半数をアジアが、その他を欧州と北米でほぼ二分しており、それを法人化前後で対比してみると、アフリカ・北米減」という傾向が浮かび上がります。また、法人化後に新たに増えた国・地域を数えたと「15」あり、日本文研の国際化が進められた結果と言えます。

IR-Report 特集号  
見てわかる  
日本文研  
NICHIBUNKEN

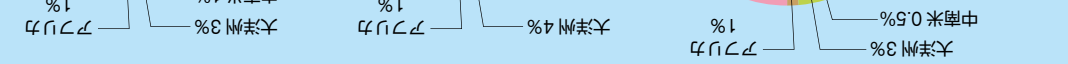
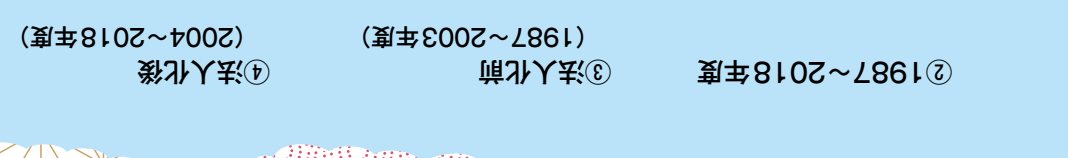


見てわかる  
日本文研



IRくん  
日本文研に関する情報の調査及び分析を実施するインスティテューショナル・リサーチ (IR) 室のキャラクター。

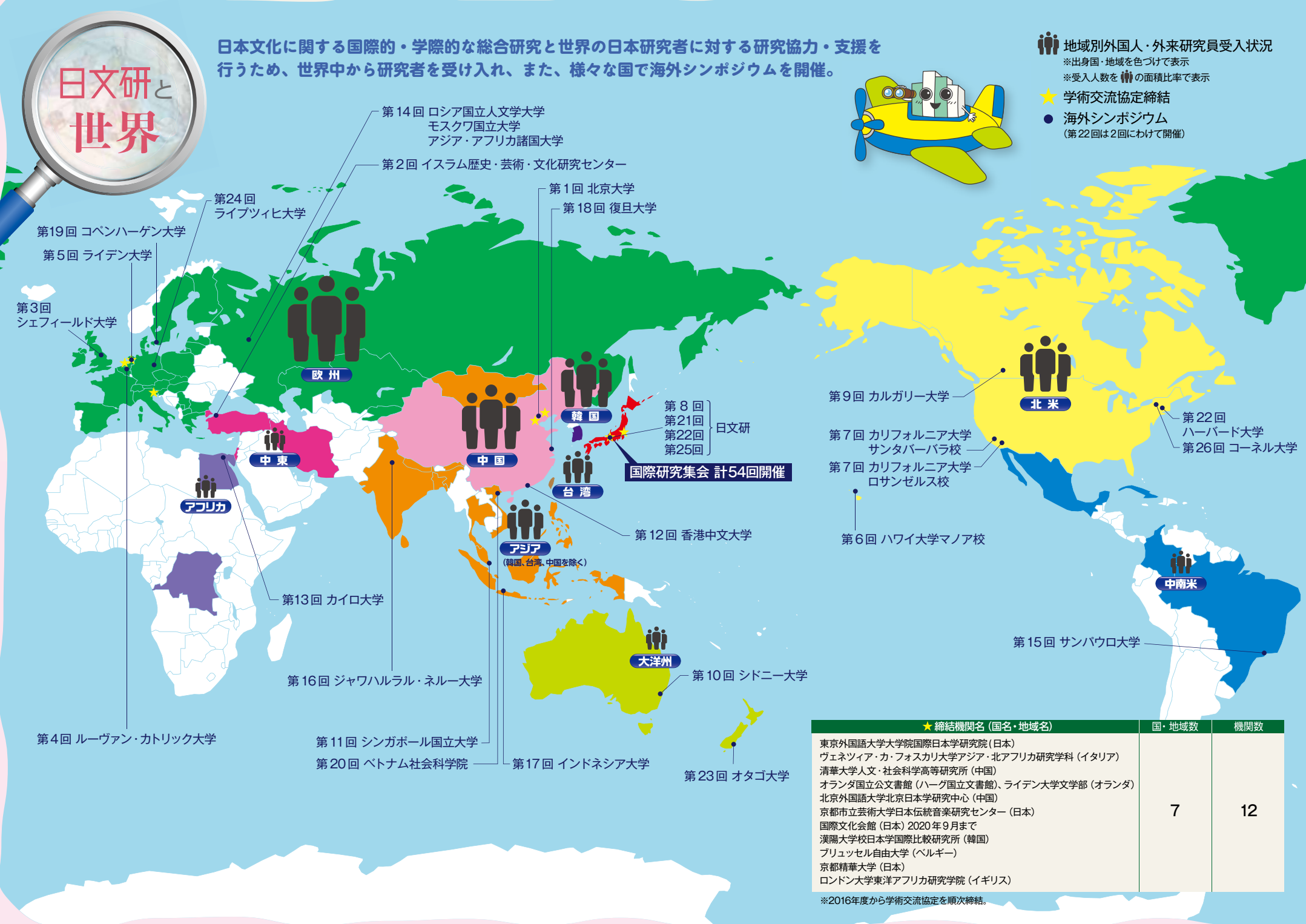
編集・発行：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター  
インスティテューショナル・リサーチ室  
発行日：2017 (平成 29) 年 10 月 25 日 初版発行  
2019 (平成 31) 年 2 月 4 日 2 版発行  
2021 (令和 3) 年 3 月 5 日 3 版発行 (改訂版)







公開年	受入年	内容
1987		
1988		
1989		
1990		
1991		① 国立国会図書館蔵明治期刊行図書マイクロ版集成 明治期刊行図書約11万点のマイクロ版。デジタル版公開以前の貴重な資料。
1992		② 「横浜アルバム」 幕末から明治期に開港地として日本土産として売られていた写真集。
1993		
1994		
1995		
1996		
1997		③ 「プランク文庫雑誌コレクション」 GHQが検閲のために収集した雑誌のマイクロ版。古蹟期文化の基礎資料。
1998		④ ヴェサリウス「人体の構造」(1543) 近代医学の基礎を作った解剖学書。保存状態の極めてよい初版本。
1999		
2000		⑤ 日中辞書 日中歴史研究センターの旧蔵書。近代日中関係資料約3万5000点。
2001		
2002		⑥ 伝・土佐吉光画「百鬼ノ図」(江戸時代) 日文研が価値を見出し、「百鬼夜行絵巻」研究に大きく貢献した模写本。
2003		
2004		
2005		
2006		
2007		
2008		
2009		⑦ 今村大十郎編「阿蘭陀紀事全」寛政8(1796) 長崎奉行の命を受けた通詞がオランダ商人から得た西洋情報を記した稿本。
2010		⑧ 鳥居清長画「袖の巻」天明5(1785)頃 男女の交合を豊かな表情で描いた名品で、春画史に残る傑作のひとつ。
2011		
2012		
2013		⑨ コメリ「東インド会社の起源と発展」(1646) アジア・日本関連の貴重な東インド会社資料が数多く収録されている稀覯本。
2014		
2015		⑩ 諸国妖怪図巻／長岡多門画(江戸中期) 「化物尽くし絵巻」などと呼ばれる絵巻群の一環で、日本各地の伝承の詞書が付されている点特徴。
2016		
2017		
2018		
2019		⑪ 1582.83.84 年度日本年報 (1586) イエズス会士らが書き留めた「本能寺の変」の状況、その後の権力闘争の記録は、重要で貴重。
2020		



### アカデミックブリッジ

日文研一京都アカデミックブリッジ、京都新聞社と連携し、研究の蓄積と最新成果を市民の皆様にも広く発信することを目的とした、2020年度より始まった一般公開事業です。



### 出前授業 (2019年度)

京都市立桂坂小学校

